



山水画を読み解く

絶景 しゅうしゅう 瀟湘八景図 はつけいず

2015年

5月23日(土) —
7月26日(日)

※作品保護のため、一部展示替えがあります。

前期 5月23日(土) ~ 6月22日(月) 後期 6月23日(火) ~ 7月26日(日)

〔開館〕午前10時 ~ 午後5時(入館午後4時30分まで)

〔休館日〕6月15日(月)

〔観覧料〕一般700(550)円

大高生450(350)円

中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

〔主催〕公益財団法人 香雪美術館、朝日新聞社

〒65580048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1

TEL 078-841-0652

<http://www.koetsu-museum.or.jp>

阪急神戸線 御影駅より東南へ徒歩5分、JR東海道線 住吉駅より西北へ徒歩15分、
阪神本線 御影駅より市バス19系統で阪急御影より東南へ徒歩5分



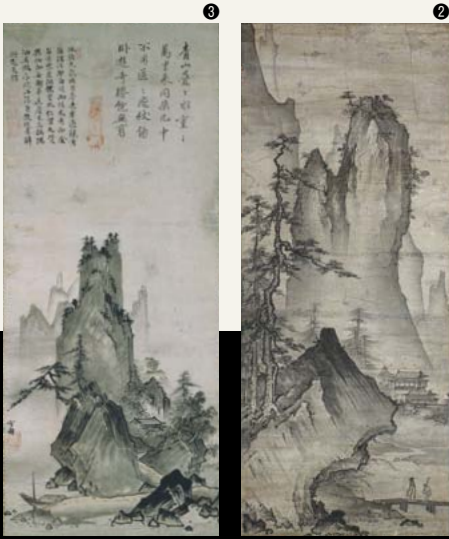
香雪美術館

KOETSU MUSEUM OF ART



絶景 瀟湘八景図

山水画を読み解く



東アジア、特に日本は四季の移ろいが鮮やかで、人々はその折々の風景を愛でてきました。自然を崇敬するとともに、多くの名所絵や風景図を描き、理想とする風景を山水図として表現しました。

瀟湘八景図は中国・北宋時代(十一世紀)に活躍した画家・宋迪により湖南省を流れる二つの河(瀟水と湘水)と、これらが合流する洞庭湖周辺の景勝地を描いたものといわれています。日本には遅くとも鎌倉時代ごろまでに伝わり、以降画題として好まれ、数多くの作品が遺されました。日本ではこの瀟湘

八景になぞらえて、さらに近江八景、金沢八景などが各地に生まれました。

本展では瀟湘八景図を起点とする山水図、名所絵、風景図を紹介いたします。山水図の伝統をご覧いただき、絵画や工芸品に表現された風景に思いを馳せていただければ幸いです。



- ① 「近江八景時絵行厨」(開棚時) 京都国立博物館蔵
- ② 祥啓「山水図」 前期
- ③ 重要文化財 雪舟等楊「山水図」 後期
- ④ 「紺地近江八景文様友禅染小袖」京都国立博物館蔵 後期
- ⑤ 重要文化財 (伝)周文「瀟湘八景図屏風」 前期
- ⑥ 長谷川等伯「柳橋水車図屏風」 後期
- ⑦ 「古芦屋 瀟湘八景図八角盆」
- ⑧ 上田耕夫「薩埵嶺望不二山図」 大阪市立美術館蔵 前期

【表面】上：⑤の(左隻) 下：⑧の(左隻)



関連イベント

梅園会(講演会と茶会)

日時：6月7(日) 講演会：午後1時～／茶会：午後3時～
 演：「瀟湘八景図を楽しむ」
 講師：山本英男氏 京都国立博物館・学芸部副部長
 定員：50名(応募多数の場合は抽選)
 参加費：3,000円
 ※「絶景 瀟湘八景図—山水画を読み解く」展の入場料を含みます。

【申込方法】

往復はがきに住所、氏名(返信用にも)、電話番号を明記のうえ、下記宛先までお送りください。はがき1枚につき1名のみ申し込みできます。

※申込み受付後、参加費事前入金の案内を書面にさせていただきます。

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1
 香雪美術館「梅園会」係

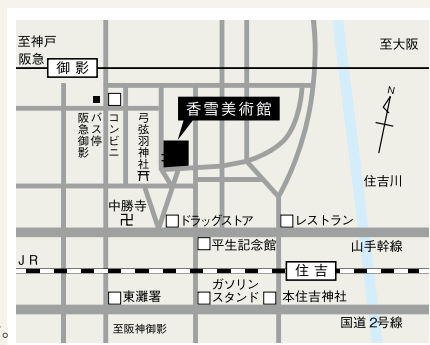
【申込締切】5月15日(金)必着

ギャラリートーク

会期中の毎週土曜日 午後2時～

学芸員によるギャラリートークを行います。

※ギャラリートークの聴講は無料ですが、別途展覧会の鑑賞券が必要です。



- ・阪急「御影」駅南改札口より東南徒歩5分
- ・JR「住吉」駅より北西徒歩15分
- ・阪神「御影」駅より市バス19系統で「阪急御影」下車、徒歩5分
- ・美術館には専用駐車場はありません。ご来館は電車・バス等をご利用下さい。

香雪美術館

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1
 Tel. 078-841-0652
<http://www.kosetsu-museum.or.jp>